京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金州五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久卯一郎
京城西署西小門通（電話六八六三）
發行所　京城新報社

第二露都會議
（日露聯絡貨物聯運）

過日來東京に開かれつゝありたる日露貨物の聯絡に關する日本側の協議會は政府の態度一定せし爲愈第二の露都會議開催の事に決せるが來る六月にはベルンの國際會議あり旁五月中に開催の要ある爲四月十三日迄滿鐵の田中氏は大阪商船の委任をも受け大連を出發することになりたる由而して鐵道院は別に代表者を出さず必要に應じては露都駐在落合參事官を代理人に指定せん模樣なるが彼の兩國の間に蟠り居たる法律上の問題即ち連帶責任解釋の如きは法律の改正を行ひ例へば國際間の直通運輸に限り勅令を以て定むることゝせば全く衝突を避くることを得る爲政府は來期議會に改正法律案を提出する筈の由尙滿鐵と東淸鐵道との間に意見を異にせる運賃上の問題は其の根抵に於て互に相容れ難きも是亦會見の上は何とか解決の方法發見せらるべしと

捕鯨合同の行悩

全國多數の捕鯨會社は昨年來濫獲制限市價維持の希望あり此機會に乘じ東洋捕鯨會社は設立當初の大計畫たる全國捕鯨業の統一を行はんとし昨年末社債五十萬圓を借入れ爾來內密に各社に對し買收交渉を開始したるが各社の財產評價折合はざる爲め未だ成立を見るに至らず然るに近來捕鯨業の不振は益各社を通じて合同の必要を感ぜしめ評價も略ぼ折合ふべき形勢なるも獨り大日本水產會社が整理後捕鯨部を新設し買收を否むの色あり兩社の交渉行惱の姿なるを以て或は大日本を除外し爾餘の會社のみ合同を遂行せんとの內議もあれども愈よ合同談の進捗に從ひ各社の評價問題再び起りて之が爲め合同の成立を妨ぐべく從つて濫獲制限と市價維持とは依然不可能なるべし

●治道工事の着手期

本年度に於ける百六十一萬圓の治道工事着手期は經費支出の件に於て未だ正當の手續を終了し居らざれば確的に其の期日を定むる能はざるも四月に入りて測量に着手すべし但し京城內の分は南大門の治道豫定線三に岐れ目下詮議中の由にて他は統監歸任を待ちて決定すべしと云ふ

●開城參業組合組織

開城地方に於ける人參栽培事業は數年前より病毒劇甚なるが爲め著しく產額を減し從前は毎に紅參の產額數萬斤に上りしも今明年は僅に千斤內外に過ぎざる豫想にして一昨年紅參專賣事業を宮內府より度支部に移屬せしめし以來政府は鋭意病毒豫防の研究と參業の獎勵とに努力せし結果漸次栽培の增加を來し本年春季苗圃より本圃に移植する者十六万間新に苗圃を仕立つるもの四萬間の多きに達すべく參業者は本月下旬より來月初旬に亙りて移植播種を爲すものなるが其の經費は約十九萬圓を要し尙來年度の移植播種の準備として本年夏季に種子の購入耕地の手入同覆材料の購入等に要する經費を合算すれば約四十萬圓を要する計なるに數年來の耕作者の疲憊は今や其極に達し是等の資金融通に頗る困難を感ずるを以て參業者百三十名は組合を設け相互融通の途を開き並に種子材料等の共同購買栽培法及病蟲害豫防驅除法の研究をなす事とし度支部大臣に認可を申請せしに去十七日附を以て認可を與へ且つ組合の經費及基本金の取扱其他組合の取締上に就き十四箇條に亙る命令書を交付し同時に參政局長をして嚴密なる監督を行はしむる旨を命令せりと而して本年度の參業資金は度支部の斡旋により韓國銀行より漢湖農工銀行の手を經て低利に十萬圓を貸付らるゝこととなりたるを以て參業者は何れも蘇生の想をなし是よりは些の遺憾なく理想の事業を遂行し得らるべしと一同喜び合へり因に同組合の役員割は組合長孫鳳祥副長姜必萬理事は金鎰煥外四人及會計一人なるが日本人木村勇次郎も理事の一人也と

●暴徒を義兵と呼ぶ

治外法權の下に在る一派の宣教師及び日韓關係の現狀を知らざる頑迷なる韓人輩が今尙は暴徒を呼ぶに義兵を以てし暗に煽動的行動を執り遂に暴徒所在地方民をして之れに迎合し援助せしむるの風あるは實に苦々敷事に屬するが苟くも國法を蹂躙し不逞の兇行を敢てするものに對し義兵抔と呼ぶは抑々不埒極まる次第にして斯の如きは默視すべからざる事なりとす若し此事韓民なれば兎に角吾が國と締盟の誼を有する外人にして斯かる云爲あるは眞に憎むべく依つて這般國際的禮儀を亂す輩に對しては相當の取締を爲すべく當地駐在外交團の或向に其議ありと云ふ

木浦棉花集散（一）
（關稅局の調査）

昨年より本年度に懸けて韓國棉花の好景氣なることは既に報導せる如くなるが其狀況に付關稅局の調査に依れば本收穫期に於て

▲木浦市場の棉花數量　は一月末迄に既に韓棉約九百二十萬五千余斤之を時價平均百斤に付七圓五十錢とする時は六十九萬六千四百圓余に當り又米棉は約四十萬斤時價平均百斤に付八圓六十錢とする時は三萬四千四百八十圓に達し之れを昨年及昨々年度の同期に比すれば殆んど二倍以上の多數に達し實に未曾有の盛況を呈せる由にて尙各地方生產地に殘留せるもの百萬斤內外ありと

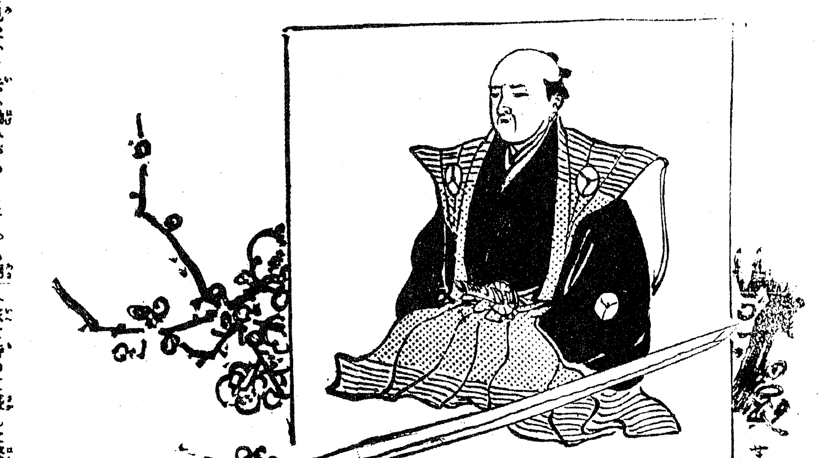
▲出廻り高の多き原因　本年棉花の出廻り高が斯く盛況を呈したる原因は稀有の豊作に因ると雖も昨年は米國棉花不作の爲めに其の影響を受け韓棉も亦從て騰貴したる爲めにて例年韓人が韓木綿の製織其他自家用として使用する棉花も之れを放賣したると從來光州地方の棉花は交通不便の爲め木浦に出すも不引合なりしに昨春以來道路の開通せられたると一方には暴徒鎭定に歸し日本人の深く內地に入込む者多く從て買出に從事し得るに至りしが故なり

▲棉花の盛況と金融　右の如く棉花の輸出盛況なるに伴ひ韓國銀行出張所及第十八銀行支店が昨年十二月末日までに貸付たる金額は八十二万圓の多きに達したる由なるが前記棉花の生產地に於ては日本人の深く內地の買出に從事する爲め紙幣及補助貨幣散在して從來の韓錢は殆んど之れを見ず爲めに韓人間及び在留日本人間にも購買上の便を有するに至りしと云ふ

日本銘刀傳

第七十七席　**金華山兼定**（四）　邑井一講演

七兵衛は道中恙なく美濃國の關と云ふ宿へ着いた、此關といふ宿は岐阜から凡そ十里もありまするが至つて小物打の多い所でございます、小物打と云ふのは、鋏、剃刀、小刀、鎌、鋤、小柄などの鍛冶でございまして、現今でも此の關では好いものが出來ます、況して小柄は關に限ると云つても宜い位のものでありまして、兼長、兼定と來ては又た格別の切味でございます、七兵衛はまだ少年いくら發明の子でもなか〳〵大人のやうなわけには往かない、況して江戸から遙く離れて何方向いても知らん人許りの土地へ來たのだから少し心細くなつて、宿の入口の松並木へ腰を下して涙ぐんで茫乎して居ると此所へ通り掛つたのは年頃五十前後、デップリと肥つた品の好い男『オイ小僧さん、お前は旅の人のやうだが、何を考へて居なさる』七『ハイ、私は江戸の者でございますが、少々此宿に尋ねる人があつて參りましたので……』男『オヽさうかい、誰を尋ねなさる』七『此宿の生れで當時京都に住ゐなさる金華山兼長さんと有仰る方をお尋ねするので、當時京に出でなさると許りで京も廣うございますから、道中より遠くもない此宿へ立寄つて能く樣子を伺つてから京へ上らうと思つて居るのでございます』男『オヽさうかい、夫りやア好い所で遇ひました、私が其お尋ねの兼長でございます』七『エッ』兼『イヤ吃驚なさるにやア及ばん、私も長らく京都へ居たが、もう近年は身体が弱くなつてならんから故郷へ歸つて來たのはツイ先日のこと、私を尋ねるため遙々江戸から來なすつたので、直ぐに京都へ上らず此宿へ立寄られた許りで私に邂逅たのは何かの因緣であらう、時に私に何の御用があります』七『外でもございません、私は小物を鍛つことが好きでございますので、親父は大工でございますが、夫れを嫌らつて家を飛出したのでございます、何うかお弟子になすつて下さいまし』兼『ウム夫れ迄に熱心なら弟子にしないものでもない、夫れぢやアまア私の家へ來なさるが好い』七『難有うございます』と天より師匠を引合して下すつたのだとホク〳〵悦んで兼長の後へついて參りますやがて兼長の家へ來て見ると左程立派ではないが、何となく名人の家らしい、七兵衛是れより兼長の門人となつた、兼定と云ふのはもう其頃は死くなつて居ない、七兵衛一日も早く修業して江戸へ歸り父の達者なうちに立派になつて見たいと云ふ願みがありますから朝は暗いうちから起きて米を搗いたり臺所へ水を汲込んだり庭の掃除をしたりして後に仕事に掛かる、夜は遲くまで師匠の肩を揉み、又は近所の手習師匠の許へ通つて夜學に精を出す、夫れは〳〵勉强で一生懸命でございます、師匠も大層氣に入つて外の弟子よりも心を入れて教ねるやうにする、彼是三年も此土地に居りましたが、腕前が非常に上達しまして、今では師匠も舌を卷く樣になつた、スルと師匠の兼長はフト病氣になつて熱もなか〳〵高く年はまだ夫迄ではないのでありますが、まづ今度は六ケしからうと云ふ醫者の診察、七兵衛は心から心配して二十日程は碌々物も食はず眠りもせずに看病しましたので、兼長もホト〳〵涙を流して喜んだが、命數如何ともする能はず遂に兼長は息を引取る前になつて七兵衛を枕邊へ呼んで、是迄の親切を謝しまして改めて二代目兼長と名乘ることを許して死にました、七兵衛は師匠の死を悲しみ葬送のことなど何呉れとなく心配して世話を燒きまして、さて自分は師の名を襲いで二代目金華山藤原兼長と名乘つて江戸へ歸り久振にて父親に面會なし、互ひに喜び合ひましたが日本橋の本小田原町（江戸橋通り）へ家を持つて盛んに繁昌致しました、今日でも其子孫が矢張以前の所に兼久と名乘つて金物店をして居られます、今の御主人は九代目でもう七十三歲になられますが至つて壯健な人で、講演者が親しく今の御主人兼久さんから此二代目金華山兼長の御話を伺つたので事實談でございます、實に小柄と云へば金華山と直ぐ聯想しまするくらゐで金華山も此の二代目のが一番切れたと云ふ評判でございます、餘り堅い御話が續きましたから次は法城寺正弘と云ふ新刀名家の人情タップリの珍らしい講談を申上げます



東京電報

●文相の農相兼攝　大浦農商務大臣不在中小松原文部大臣農相を兼攝する事に決し明日發表せらるべし（廿七日）

●載濤殿下の謁見　載濤殿下には二十九日午前十時二十分近衛一小隊の儀仗により參內天皇陛下と御對顔あり御會食あらせらるべき旨本日仰出されたり（同）

●川村大將の使命　今回歐洲に派遣を命ぜられたる川村大將は[illegible]特務の使命を帶べるものにあらず（同上）

●行政の新設計劃　內務省にては本年度より行政官を設置するの計劃にて[illegible]高等文官試驗を[illegible]府縣屬を[illegible]官等は高等官七等とせらるべし（同上）

●韓國派遣の部隊　今回[illegible]韓國派遣部隊は[illegible]步兵第四聯隊（山形）同第四十二聯隊（山口）[illegible]騎兵第二聯隊（仙臺）[illegible]工兵第二大隊（仙臺）

●貴賓の滯京豫定　清國載濤、傳聞兩殿下は[illegible]（同上）

●東京市の貴賓歡迎　[illegible]

●取引所調査會設置　[illegible]

●齒科醫學校の設置　[illegible]

●鐵道衛生技師設置　[illegible]

●種牛牧場新設決定　[illegible]（同上）

●法律勅令の公布　[illegible]法律二、勅令百五十四件本日公布せられたり（二十八日）

●日本牛疫益々猖獗　牛疫發生以來二十六日正午迄に一府七縣より農商務省に報告したる所によれば撲殺數千二百五頭なりと（同上）

紐育電報

●南極征伐の確實　[illegible]氏は當地に到着し南極征伐は今や確實なりと（同上）

●ゴ將軍と聲援隊　ゴルドン將軍は[illegible]ニカラグア[illegible]聲援隊を組織中なり（同上）

歐洲電報

●獨帝のル氏優遇　米國前大統領ルーズベルト氏は五月十二日獨乙皇帝陛下の賓客として伯林宮城に滯在すべし（廿七日）

●獨帝の羅馬訪問　獨逸皇帝の羅馬訪問は一般に三國同盟を更に鞏固にするものと認められ伊國新聞紙は頗る親睦的の辭を掲げたり（同上）

●アビシニヤ皇危篤　[illegible]

●和蘭と憲法調査會　和蘭女皇ウイルヘルミナ陛下は憲法[illegible]調查會を設けられたり（同上）

北京電報

●清國の西藏政策　[illegible]

●江西鐵道と佛國　[illegible]

●商工調査の方針　[illegible]

●浦鹽在住韓人其他　浦鹽港警察署の調査に係る本年一月一日現在の浦鹽港人口は[illegible]之を國籍に區別すれば左の如し

	(男)	(女)	計
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●仁川教育衛生總會　[illegible]

●韓銀貨幣發行週報　（自三月二十日至三月二十六日）

一行券發行高	一三、三四八、二〇三
正貨準備發行高	四、七一九、三五七
保證準備發行高	八、六二八、八四六
許有高	五、三三六、一八四
[illegible]	一二、八一二、〇一九
硬貨發行高（三月二十六日現在）	五、七六七、六〇五
金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
同十圓	五〇〇、〇〇〇
同五圓	五〇、〇〇〇
銀貨五十錢	九三八、五〇〇
同二十錢	一、四一一、〇〇〇
同十錢	九五五、〇〇〇
白銅貨五錢	六七二、一〇〇
青銅貨一錢	二六〇、一六五
同五厘	八〇、八四〇

●全南居留民の謝電　[illegible]湖南鐵道敷設の確定は[illegible]の餘澤と欽仰し[illegible]の熱誠を以て[illegible]の意を表す

●京城各學校卒業式　[illegible]校洞普通學校は二[illegible]證書授與式を擧行し學部より大臣及び柳田事務官臨場したり[illegible]官立外國語學校は午後

●沿海警備船の配置　[illegible]中なりし內部所管の警邏船二隻は鎭南浦に二隻は龍岩浦に一隻は仁川管內に配置せらるゝ事となり[illegible]一昨二十七日夫々任地に向ひて出航したりと

●郡主事採用人選難　[illegible]任用すべき郡主事百餘名は[illegible]書記官以上の人選は歎育、衞生は勿論地方[illegible]方面に涉りて採用すべき人選難を來たし居れりと

●平南農學校の開校　[illegible]立農學校を設置する事に[illegible]より開校するに就き客年[illegible]農林講習所を同校に合併[illegible]なし本年限り存置する由

●第二方面會議開催　[illegible]會議は廿九日より內部警[illegible]由にて慶尙南北、全羅南[illegible]部長は夫れ〳〵入京せり

●模範場技師の異動　[illegible]場技師草野淼男氏は依願[illegible]れ同技手野木傳三郎氏技[illegible]奏任官四等に任せらる

●實業補習學校設置　[illegible]立於義洞、水下洞、[illegible]學校内に各實業補習學校設置の件は廿八日學部より認可したり

●密輸入と沿岸警邏　仁川稅關所屬船櫻井丸は二十七日沿岸に向け密輸入警戒の爲め出航したり

●東亞煙草の招宴　東亞煙草株式會社は廿七日午後六時より日韓新聞記者及通信社特派員二十餘名を掬翠に招きて新製品發賣の披露宴を張れり佐々木販賣部長の挨拶峰岸本社長の祝辭ありたる後藝妓の手踊等あり歡を盡して散會せしは午後十一時頃なりしと

●種子の無料配布　水原林業事務所より林業獎勵の爲め櫟及ニセアカシヤの種子を無料にて配附する旨仁川理事廳に通牒ありしが自然配布希望の向は其旨仁川民役所に申出らるべしとなり

●在仁大分縣人會　在仁川大分縣人春季懇親會を一昨二十七日午後七時より八阪樓に於て開催せしが會する者數十名に及び豐州子の琵琶其他藝妓手踊等の餘興ありて非常の盛會なりしと

●交代憲兵の赴任　廿七日午前九時南大門發列車にて憲兵廿六名天安へ三十八名大邱へ同九時十分發北行列車にて憲兵四十名平壤へ夫々出發赴任せり

●漁業審査會開會　農商工部にては廿九日免許漁業審査會を開き江原道、咸鏡北道に亙る沿岸の部を査定する筈

●警備電話の開通　大田、沃川、報恩間の內沃川、報恩間警備電話本月十七日より通話を開始せり

●設備委員會開催　仁川港設備委員會を廿八日午后七時より民役所樓上に開き會則今後の運動方法等を審議せり

●夜學校の卒業式　仁川商業夜學校は去る二十七日高等女學校講堂に於て修業及び卒業證書授與式を擧行したり

旭公園愈々開設

市原、和田、中村外三十餘名有志の發企に係る旭公園（南大門城壁より米倉町旭町一、二、三丁目の上部に渉る）の設置は去る四十年末漢城府理事廳等の認可を受けしも當時思はしからざるを以て一時見合せ居りしが昨今前記發企人諸氏の熱心なる行動により去る十八日より每日十餘名の人夫を使役し公園道路の開鑿に着手し居たるが工事も大に進捗し旭町一丁目より上る本道を南大門より上る本道と連絡せしめ溪間丘上を逍遙すべき縱橫の小路も已に開通し廿七日よりは三十餘名の人夫にて今後二週間にて大體の道路工事を終るべき豫定にて其他の設備に就ても目下發企者間に於て協議中なりしも當分の中要所に腰掛を置き運動場を設け其の他二三の茶店を置き植物は櫻、紅葉、杜鵑花、榴花等にして止むべしと云ふ尙は運動場見晴臺等の名稱は目下古實に適せる學者に依賴し詮考中にて開園式は五月上旬なるべしと因に同公園は京龍は言ふ迄もなく漢江及南漢山等の眺望絕佳にして殊に有名なる城外の桃花と鎭の萬紅葉は此の公園の呼物にして今後京龍第一の遊覽地ならん

南韓の穀物概况

去二月中鐵路釜山に集中したる穀物の總額は四万〇三百十七個にして一月より少き事實に四万五千百十六個其內米は二万五千〇四十五個豆は二萬六百八十九個小麥百廿一個荏子百四十個にして大麥は反りて千七百〇四個同粟百七十七個の增加を呈せり斯の如く巨額の減少は時恰も舊正月に會し一般韓人の休業せると結氷の水運上に影響せるに因りしとはいへ米價の依然として昇進せざるは最大なる由因なるべし一面大豆は市場產地共品拂底を告げ洛東港浦等は僅に一千八百九十三個にして一月に比し九千八百三十六個の減少なるが畢竟するに同江結氷の影響大なりしにもよれり尙は二月中同市場賣買の總額は五万九千二百九十六個にして前一月に比し三千八百十個の增加なるが玄米及び大豆は反りて在荷僅少のため減少せり其額は玄米一萬七千六百四十七個中白米一千六百四十六個大豆二万五千二百七十個なりといふ

●蔚山方面發展趨勢　蔚山元山間の要港として且つ捕鯨根據地として有名なる蔚山港は往時僅かに陸軍御用船の寄港に由て釜山若しくは内地諸港より其供給品を仰ぎつゝありしが此頃に至りては御用船の外更に商船會社釜山汽船、合同汽船並に隱岐汽船等より各一艘乃至二艘を以て殆んど每日の如き航海の姿となり今日に在ては同地往復も僅に一日を以て足るべき便を得るに至り同地方面の物資は續々として輸送せられ日每に發展の狀況にあるが尙此頃に至りては東萊蔚山間の道路改修を機とし其一部に輕鐵軌道を敷設し釜山鎭蔚山間の輕鐵を延長せんとする計畫あり期未だ定まらざるも必ず敷設するの覺悟なれば近き將來に於ては釜山蔚山間は海上の交通完備と相俟ち鐵路の敷設連絡を見同地方面の開發に資する處多かるべしと云ふ

●水産組合の役員會　朝鮮海水產組合にては來月五日より釜山に於て理事廳所在地の支部長を招集し役員會を開催するに就き農商工部統監府に對し主任官の臨席を請求し來り統監府より川田屬農商工部より庵原漁政課長樋口技手出張する事となれり

●商業會議所の總會　京城日本人商業會議所は廿七日午後七時より定款改正に關する總會を開きたるが直ちに委員付托の動議成立し曾我秋吉近藤池田小川の五氏を選擧し三日間に調査報告せしむる事となりて散會

●忠南の機業傳習所　忠南北道にては尙州を本據として織物の傳習に着手したるが今回宮村機業傳習教師は忠清南道韓山地方の狀勢視察を終りて歸廳したるに就き其本據地は農商工部にて詮議中なれば今明日に決定の上直ちに傳習を開始する由

●木内次官の歸京期　既報の通り木內農商工部次官は川上書記官齋藤主事を隨へ二十七日午前九時南大門出發東上の途に着き官民の見送り多數なりしが南共進會地に立寄り東京着は來月五日頃なる豫定なりといふ

●市原韓銀總裁出發　韓銀總裁市原盛宏氏は二十七日新橋出發歸韓の途に着けりと

●榊原憲兵隊長歸任　東上中なりし榊原憲兵隊長は二十七日午後八時十分南大門驛着列車にて歸任

●今井忠雄氏歸社　政況視察の爲め久しく東上中なりし朝鮮日日新聞主幹今井忠雄氏は二十七日夜歸社したり

●芳川寬治氏東上　日韓瓦斯會社營業主任芳川寬治氏は廿七日出發東上す

●飯田警視の入京　慶尙南道警察部長飯田章氏は廿八日馬山より入京せり

●若松理事官入京　若松平壤理事廳理事官は去る二十七日入京巴城館に投宿せり

●大庭民長の歸壤　入京中なりし大庭平壤民長は二十八日出發歸壤したり

●宮川武行氏入京　全北警察部長宮川武行氏は廿七日入京浦尾旅館に投宿

●鈴木技師の出發　長崎縣の同技師は廿七日當地を出發し安東縣に向へり

●楢崎桂園氏歸京　西韓方面視察中の大坂每日特派員の同氏は廿七日歸京

龍山通信（廿七日 支局發）

▲滯龍中なりし秋山騎兵監は去二十七日午前九時十分北行列車にて平壤へ向け出發せられしが二十八日は同地滯在守備隊を巡視し二十九日安東縣に向はるゝ豫定なりと▲石井統監府附武官は秋山中將と同伴平壤に出張▲目下滿洲視察中なる明石軍參謀長は去る二十七日草河口に着三十日頃歸龍すべき旨其筋に電報ありたり▲參謀本部員步兵少佐高田豐樹氏は昨二十八日龍山出發せしが馬山を經て二十九日頃歸朝する豫定なりと▲久門、石川の兩鐵道技師岡部參事の三氏は昨二十八日龍山着太陽館に投宿▲前號の紙上に報道せし如く龍山韓國橫斷鐵道期成同盟會運動委員の報告會は去二十六日開催の豫定なりしも何か尤も千万なる理由これ有る由にて無期延期となれり

▲治外法權▼

慶尙北道の古刹海印寺倉庫內に於て一切經の高麗版が發見されたのは今より一年許り前の事だ、何が難有いのか知れぬが專門家の說によると該高麗版は唐天竺にも無い至極貴重なもので國寶として保存すべき價値があるものだソーだ▲現時我國に於て一切經の揃つた一部を持つて居るのは東本願寺許りだソーだ、尤も端本は所々にあるが一部と云つては無いのだソーだ、故に僧侶は勿論佛教學者は是非共一部を手に入れたいと平常熱望して居るのだソーだ▲とごろへ現はれたのが大阪の本屋で金尾種次郞と云ふ男である、彼は佛者が一切經に對する熱望を知つて居る、彼は或者より海印寺に於て高麗版發見の事を聞いたので今より數ケ月前之に因つて一の金儲けを企てた▲其方法は豫約出版で一部を一萬圓とし五百部を出版するのであつた、で一部が一萬圓なれば五百部では五百萬圓サテも莫大な利益がある筈であつた▲金尾は高麗版の貸下げを宮內府に出願した、小宮次官は早速許可に及んだ、併し實は當時に於ては該高麗版が宮內府の所管と云ふ譯でも無かつた▲事が旨く運べば金尾は四百九十九万圓の利益がある筈であつた、ところが好事魔多し否佛罰が當つたとでも云はふか總ての魂膽が其筋へ知れ統監府の伯父さんが眉を顰めた▲御存じの通り邦人より韓政府に差出す願書は總べて理事廳統監府を經由することになつて居る、金尾が宮內府に出した高麗版貸下げ願書は前記の順序を經て居ぬソレが理由となつて小宮次官から降した許可は違法なりとして統監府から取消され金尾の金儲計畫は土崩瓦解只た運動費損に了つた▲此失敗後と雖も金尾及び金尾類似の徒がドーガナして高麗版をものにせんと企み居る事は恰も赤穗浪士の吉良上野の首に於ける如しだ、最近に於て海印寺の坊主と佐藤六石とが結託して該版を盜み出さんとしたのは金尾及び彼以外に意外の黑幕があるのだ▲東亞煙草會社が朝日、ホオピー、ウエルスの新製品披露會を開いた、中味は勿論包裝もなかく良く出來て居る、加藤技師長少しは鼻を高くして良からふ〳〵、だが今の樣に內地及米國よりの輸入葉のみで朝日其他を造つたとてもあまり自慢にはなるまいドーか近き將來に於て韓葉ばかりで新商標の煙物を造り加藤君以下の手並を見せられたい▲佐々木販賣所長の桃中軒式義士銘々傳全く黑人跣足だ、然し揚迫らざる流しは極めて良い朝日の三ツも載けば誰れでも三段位辛抱する。



慘酷なる二葉亭(四)

に内儀の毒腕……冷酷から成効……金儲けの犠牲……不憫なる女……

夫は丁度昨年夏の初めであつた處が小萬が關係での勘定が面白くないと云ふので二葉亭も[illegible]他に仕替へを爲せ度と云ふ事になつたが[illegible]二葉では小萬の評判が可くないと云ふのと前借が多いので抱入が容易でないと云ふ始末で今度は仁川へ持つて往く事になつたが夫れには月主の承諾書が入用であるが此の場合小萬の承諾書を國元から取り寄せると云ふ事は困難であつた處から到々奸策を[illegible]姉の名儀に僞りて[illegible]

松の家へ[illegible]

[illegible]

小萬なる者の筋を詐[illegible]

[illegible]

二葉亭が教唆

[illegible]

虐待 逃亡

[illegible]

急を救ふ

[illegible]

太郎が故郷に 弘津芳太郎 養女

[illegible]

所謂韓國金儲けの犠牲となるべき哀れなる女であつた。

禪坊主の亂行

▽取替へ引替への女狂ひ

昔花開町のほとりの韓人家屋の門表に日韓禪寺となん記されたれ寺あり寺僧は大勢大定とて丈けいと高き僧侶なるが今は昔文覺ならぬ此の僧侶の亂行こそ笑止なれ身は佛門に[illegible]清淨の衣の袖をひねくりながら朝夕の讀經は元より[illegible]貧者の區別を設け貧者の[illegible]と云ふ丁見のみ[illegible]昨年夏頃よりの亂[illegible]つひに近くの東[illegible]

坊主頭を突き[illegible]

[illegible]春なる者と熱[illegible]いくの仲となり雨の降る夜も風吹く夜も[illegible]主の方では愈々無[illegible]元より人並外れ[illegible]ひは金が堪らぬと[illegible]

牡丹餅騒ぎ

[illegible]一人の女ありし[illegible]長崎縣五島生れ亭[illegible]北韓方面へ出[illegible]爲め妻女は大膽[illegible]なしたるが是れぞ[illegible]主の大膽は何日の間[illegible]女に賭けては寸分の[illegible]の青木ゆう子の與息[illegible]は忘れて丁ひ懸命[illegible]

淫樂にのみ耽りゐ 丸め込み茲に

[illegible]文亂行至極なり然れ[illegible]の以前より下婢とし[illegible]主とゆう子の亂痴氣[illegible]些々れ笑止な眼附を[illegible]めたり(つゞく)

酌婦は人妻

▽夫を嫌ふて逃出し 姦夫に買れて酌婦

[illegible]山北海樓に年の頃二[illegible]ハグし酌婦が現はれ[illegible]甲乙は彼の塀は破れ[illegible]空屋然たる料理屋に[illegible]りとあつて視察に出[illegible]を折らせしが抑も此[illegible]の田舎に生れ何やら[illegible]て二十五歲の年增盛[illegible]國の旅人宿魚屋事福[illegible]永利平方に嫁ぎしが二三年前よりは田舎氣質の失せると同時に律義な亭主が鼻につけてたまらず一再家出などして親類縁者に迄心配をかけ居しが二ケ月計前家を飛出して同地の周旋屋小柳方に潜伏し浮氣の虫の滿足しさうな處へ突っ奔らんものと思案最中京城旭町二丁目居留興行師山根兵助なる者と通じ手に手を取つて渡韓せしが兵助元來とみの氣に入る程の男なれば蝨見の宜しからう筈なくとみをば甘く騙して北海樓に叩き賣り身代金八十圓を着服して了へりされどとみは浮氣の虫が滿足さへすれば可しと一向平氣の平左にて朝夕粉飾に念を凝らし源平藤橘は愚と勿体なし士、人、大、左の浮れ寄るに任せて人妻の身の淺猿しくも情の切り賣り何に士、人、大、左が判らぬとなハテサテ困つた讀者の方々士は土方、人は人夫、大は大工、左は左官ヂツそれ怨んな文句は二年前より京城の流行もの合點參りしとあらば夫れで重疊、去りながら根から重疊に存せぬは本夫の利平君にて女房と名のつきしものは瘦つても可愛くとみが龍山に居る由を風の便に聞きて保護願を龍山署に差出せしより一伍一什がすつかり判明し眞赤な恥を曝される奴なり

在韓水戸人士に告ぐ

水戸浪士が憂國の餘り櫻田の快擧を敢て爲したるは今より半世紀前なり、爾後大義名分明かとなり政權朝廷に歸り國運隆々以て今日に至る、朝廷曩に浪士に贈位の恩典を賜ふ死して餘榮ありと云ふべし、今や外交多端世人動もすれば軟風に襲はれんとするの時に當つて東京やまと新聞社主催となり來る四月十日を期し九段招魂社に於て浪士の爲に五十年祭典を擧行せんとす、蓋し吾人の意を得たるものと云ふべし、依て思ふに在韓水戸人士は浪士と鄕を同ふする者該祭典に與かるの特權を有す故に本社は此際水戸出身の諸氏に寄附金を請ひ之を一括してやまと新聞社に贈り祭典費の一部に加へんとす幸に御賛成あらんことを希望す、

寄附金申込期日 **四月三日限り**

申込所 **京城新報社**

●困つた憲兵上等兵

▽醉ふて交番で亂暴す

東京生れ目下南大門通り一丁目二十六番戸左官職村山源平方久保田財二郎(三七)は廿六日午後八時頃泥醉して無燈火の韓人車に乗りて大和町交番前を通り拔けんとするより同所の巡査は是を制止點火を命せしより車夫なる韓人は提灯に點火せんと爲すを見るより車上の財二郎は憤りて若し點火なさば降車すべしと云ひ張りて止まず依て一應兩人を取調べし結果に依れば新町より南山町二丁目迄を往復二回半も駈け廻りし事分明相當賃金を支拂はせし上歸宅させんと懷中を取調べしも無一文の上財二郎は我は勳八等の憲兵なり警官抔の訊問を受けんやと亂暴を始め出す始末に同巡査も當惑の處へ恰も巡回の倉野部長と協力本署へ連行の上覺醒を待つて嚴重說諭放還されたりと云ふが同人は事實豫備憲兵上等兵なりし由なるが去りとは困つた男かな

●不埒な行商人

仁川仲町居住の蓄し商砂山林之助は一昨日午後十一時頃新町二丁目道路にて行商中本町三丁目八木方同居山口淺二郎及同池田榮次の二名に突き當り携へたる蓄し箱を地上に落したるより因縁を附け損害賠償を兩人に對し迫りたれ共賣𧘕の方よりは事更らに突き當りしものなれば其求めに應ずる能はずと双方共口角泡を飛ばして爭論の最中宮町派出所より巡査出張し一同を派出所に同行して取調べたるに全く前記砂山が不景氣の爲め賣行の面白からざるより態と突き當りて其代金を支拂はせんとの惡意より事茲に至りしものと判明せしかば說諭の上放還したりとぞ

●勳章遺失者

去る廿五日敦德殿にて催されたる夜會々場に勳五等八卦章一個遺失ありし爲め目下德壽宮に保管しある由心當りの者は申出でられよ

●ヨボの摑み合ひ

南署轄路洞の金福車(三三)同洞李英春(三八)の兩名は二十六日午後八時頃同洞酒幕にて散々飲酒の上亂暴を始め其の筋へ引致れ目玉頂戴

●韓人の擾つ浚ひ

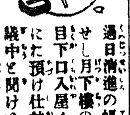
一昨日午前六時頃年齡三十歲位の一韓人が仁川鐵坂町二丁目飲食店後藤吾市方の表戸口を押し明けて屋内に忍入り店頭に陳列しありし巻烟草十本入廿個を竊取して立去らんとするを仁川驛機關庫員山本熊次郎と云ふが發見し之れを取押へんとしたるに賊は盗品を其場に棄てたる儘雲を霞と仁川稅關方面に逃亡したれば目下搜査中なりと

目と耳

▲曾我廼家 連日壽座にて大喝采を拍したる曾我の家一座は一昨日同座を打揚げ龍山の龍山座に乗込み本晩より不相變面白き喜劇に頤をはずせる由

▲仁川歌舞伎座 伊東文夫の同座本晩の出し物は「藝妓と書生」にて其の役割は車夫房次郎(泉)清水要(池内)態い紳士(西井)惡漢夏寅(芳川)尾形保武(横山)小花(藤島)尾形保夫(小泉)倡のや佐平(北秋)床辰(米)田毎新 伊東)

▲京城座 同座本晩の藝題は「伊達模様」の通しにて配役は左に丁稚長松(今井)下女たね(花井)車夫留(千葉)縮屋源兵工(川崎 同新三郎(金澤)娘さく子(桂木 車夫政(田中)警部岡田(高山)鬼面の久次(高島)車夫吉(上田)刑事山本(潮)巡査横山(八島)書生田中(眞部)子分伊勢松(秋園)藝妓小春(三好)長五郎(美崎)番頭忠七 瀬川)



過日淸進の帳場と逃走せし月下樓のぽんたは目下口入屋と云ふ配所に預け仕替へ口の詮議中と聞けど借金多き爲め抱へ人なく毎日脊息とは笑止▲井門支店の太郞は近來足も可くなりぽつ〳〵れ座敷へも顏を出すとか▲南山樓の花扇の仕替へ話も隨分久しい者なるが一体怎うする考へやら▲仲居として皆春樓のれうめ、井門のれ駒、第一支店のれのお位にて高島屋の三人は三人共に揃つた女、但何れは金が先決問題さ御承知あれ高島屋と云へば同樓の小門戸に一寸平の兩人不相變一二番の優勢を張り居るは感心〳〵▲第一支店の吉野女郎君は近來滅法鼻をピク附かせ居る由なるが餘り增長すると館玉の恐れあり誤要心消進樓の新妓君よ今少しく手腕を出さざれば女郎甲斐が潰れは仕らずや聊か心配▲皆春の式部は容顏にて客を引き花絹は腕にて客を溶かすとか聞けど何方が長く續くやらとの評判▲大桝屋の十二三のヲチヨボ君はれ客のぽちを貯め込んでは國本に送附する由感心也大きな女郎衆も少し見習つたが可かんべい▲月下樓八重子、米吉、小奴の三人は打連れて昨日安東縣へ鞍替へしたとの事▲儲一昨日の日曜日當所のれ客さんは百十五名にて水揚高六百二十七圓六十錢(郎雀)

朝鮮の風習(五)

▼珍妙の事許り

れ約束の朝鮮妙藥の製法と其適應法を左に御披露に及ぶ。▲人間の小便を三年間陶器の壺に貯藏して置く、爾うすると白色の沈澱物が出る、之れを人中白と稱して婦人の解熱劑として特効ありと申す。又生の小便は婦人の咳嗽、月經過多、產前產後の眩暈及熱性病、之れを持藥にすれば長壽を保つこと受合であるとのこと、嘘か眞か知らねど、信ずる人は勿論怪しいと思ふ人は試して御覽じろ。

▲人糞を舊十二月初旬、靑竹二節を切り、外皮を剝ぎ、其中に詰め更に少量の甘艸末を入れ長時間地中に埋め置きて后取出して日光に乾燥せしむ、之れが人中黃の製法である、又た之の乾いたのを火に燻して其奴を水に浸し、其上澄を召し上がつても宜しい、婦人の大熱に特効ありといふことだ。▲男女の褌なり褌を結めないならば衣裳でも宜からう、兎に角陰部に當る部分を六寸角に切り取つて黑燒きにする そして夫れを水に浸して其水を服用すれば產後の排出を速かならしむることは神の如しと聞いた計りで見たとは無い 此の他、人間の爪殆に姙婦の爪は、煎じて飲めば分娩を速かにし安產疑ひなしといふことだ、尊い人の爪の垢を煎じて飲むできさへ利目になるとは日本でもいふことだ、して見れば本物の爪は効力疑ひなしであらう、特に姙婦が自ら爪を煎じて飲むが安產が出來るならば誠に以て御手軽で宜しい。月經も藥になるさうな、但し處女ので無くては不可い、處女の月經は紅鉛と呼むで貧血、食氣不振、月經閉止に用ゐらるゝのであるが、又アイツを、刀鐵に塗布して人を傷くれば必ず死に致すといふ譯のものであるさうな、之れは妙藥變じて毒になるのだ。昔し神農氏は草木を嘗めて藥といふ結構なものを發明したが、朝鮮人は一層趣向を凝らしたと見ね、鳥の糞、牛の耳垢、牛の涎などから立派な藥を發明した、牛の耳垢は婦人の膀胱の疾患尿道炎等に特効あり、牛の涎殊に老牛の涎は姙婦が嘔吐の妙藥で、牛の陰莖は白帶下、牛の尿は眼瀾の妙藥、犢の糞は臭氣高き帶下には極めて妙であるさうな、記者は人助けと存じて此の秘法を發表する。(れはり)

▲平民文庫▼

▲黄金町邊の古御所には毎日毎晩四五十人も相馬の將門や純友や大友の黑主やが寄り集まつて天下の代りに盤皿の中を覗つて居る相だとか近所のもの以至極物騷がつて居る(小町櫻)▲元通信管理局で無能の標本とされて排斥の悲みを見た中島某が今は度支部〇〇課でチョッコン持てゝ居るとか妙なものだゾーすると韓國側の役人は日本側より總じて劣つて居ると見ねる(齋知生)●▲劣つてると見ねる所ぢやない劣つてるのを押し附けるのだとかの風評がある位ですね(小僧)▲龍山和歌の家の金蝶は面も拙いが姿も善くない其の代りとあつて座の接待と咽喉と來たら天下一品とまでは行かぬか龍山一品は慥かだ更らにれまけに何にを云はれても怒らぬと云ふので龍山居留民の元老間に持て囃されて居るが玉に瑕とも云ふべきは身持が堅固であることである 彼れでも少し㞍が輕ければ申分はないのだがなアと熟々嘆息した人があつたが少々無理の樣に思はれる(風聞子)▲大韓病院の廣告の如な投書が來た原文の儘登載する▲私は昨年九月頃より十二月迄大韓病院へ入院致し居候處看護の取扱醫院の心節とには誠にかん心致し三年前迄は漢城病院程宜敷は無之と存居候所此節に至りては大韓病院程かんでん宜敷はなし病氣に藥の大功ある病院他にれそらく無之と存少にても病氣の諸君は入院なり診察なり受けて御見なさい入院料三等一圓五十錢かなり食事のできる患者は一日玉子六つ食事度ごとにをさい三品づゝ附食事できざる患者牛乳一日に六合でも七合でも患者のたべられるだけを支給せられ看ゴ夫は一室に二人つき大節に看ゴ致され候大韓病院程患者功ある病院は外に無之と存居候(入院生)▲嫌に食ひ物の方に委しい此の人は乾度胃病で入院して居たのだらう職業は左樣さ……賄だらうよ(小僧)▲中の新地には無賴者がウヨ〳〵居て恐くて堪らない(ちんころ)

●天氣豫報(自廿八日午後六時 至廿九日午後六時)

東の風曇

廿七日(華氏) 最高溫度 五五、四 最低溫度 四一、〇

美術寫眞帶襟締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ゑり德商店

無料紹介欄▼

一人事部

◉就職依頼 三十四歳貿易取扱及通帳手續に經驗あり多少英語を解す會社又は商店銀行官衙等を望む 氏名在社(一〇)

◉農園 野菜類 協同者を求む但し經驗ある確實なる人 電話一二〇五番方 ないとう

◉實業採用 廿歳以下確實なる保證人ある者を求む 旭町二ノ堤法律事務所

◉店員入用 廿歳内外保證人を要す 龍山元町三丁目 日韓組米店

物件部

◉貸家 平家一戸建間數四間及長家一棟 場所南大門外吉野町

◉家屋買入 建坪十五坪乃至十八坪の家屋を賣入たし 電話七四番へ

◉電話買入 (姓名在社)

◉ポインタ種犬牡一頭歸國に付格安讓る 姓名在社

廣告

弦齋流割烹 並に歌舞伎辨當
材料の豐富と技倆の熟練は割烹界に於ける弊店の特色に有之候
すし祢
京城南山町一丁目 (電話一五〇二番)
出前の儀は電話又は一報次第即刻持參可爲申候

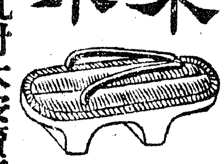
最新療治 マッサージ治療 (並に產婆開業)
◎主治概要 脳神經病、胃腸諸病、神經痛、關節諸病、產婦人科諸病、うちみ、くぢき、りうまちす
其他醫藥効なき頑固癈疾を治療す
京城太平町二丁目大漢門通光化門寄
長湘事務監東京仁壽病院マッサージ部
京城出張所
助產の需に應ず產婆荒川元子

御料理席貸
和樂園 高田家
(電話九三七番) 米倉町
○料理は高尚御手輕にして高尚
○園内は至極閑靜にして別世界
○土地高燥にして見晴し京城一
○大廣間の設備も有之候間集會又は宴會等に適當に候

京城鐘路の喰物は何んたろー!
裁判所前の洋食店鐘路軒の
松茸めしさ
酒一本外和洋料理五品付 一人前六十錢
價が安くてうまくて はらこたまるよ 皆さん一度たべてごらんなさい
又和洋料理和洋食共辨當の注文するとすぐ一つでも持つてゐる 極く便利ですよ
電話壹四二九番 客用有ます
◎監獄辨當の差入も引受ます◎

紙と印刷
諸紙 諸官衙御用
和洋帳簿
印刷
各種製本
播本商店
京城本町六丁目 電話百拾番

御紋上繪、染物、洗張、西洋洗濯
ものし、しみぬき、かけつぎ
京染悉皆取扱
葉書にて御一報被下候へば早速店員罷出精々御便宜に御取扱可申候
京城古市町
京屋 主任 島田嘉吉

東京

足袋
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
本店東京 大和屋
京城大和町一丁目 (日の出橋際)
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ

越
四月一日より七日まで
春季大賣出し
并に賣殘り見切反物
色々取揃へ居候
京城本町
三越呉服店
電話三五二番

諸荒物世帶道具一切
其他和洋蠟燭 アサヒ サッポロ ビール 精白米
右大勉强仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
京城本町六丁目
日用雜貨 卸問屋 西 西崎嘉七本店
電話二一〇(二カ)番 振替貯金口座韓七番

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類 其他
委託販賣
東京ランバーゾ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
釜山 臺灣鹽合資會社食鹽特約
本社 京城明治町二丁目 (電話二三〇番)
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 (十番 地電 新橋三六九二)

改名御披露廣告
各位益々御清榮のだん奉賀候陳は先年より四方御客様方の御贔負により今日の如き繁昌相成候桃仙閣義今般都合により同閣主川村せい子殿より同店一切を譲り受けて引受ける事に相成り名も遊春閣と改め一層改良を加へ殊に藝妓仲居等も内地にて數年經驗のある者を數名呼び寄せ御きげん相伺はせ候間何卒〳〵舊に倍し御引立て被下度殊に料理人は内地にありて斯業に充分鍛能なる者を雇入れ候に付是非一度御來遊被下御試みあられん事を伏て願上候
龍山桃山桃仙閣跡
遊春閣
福山ひさ 電話二〇三番

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席 鐵冷温泉
電話千四百十一番

京城南山町 (元日本人倶樂部事)
京城ホテル
長電話一二三番
電話四九二番

特約販賣
大上商店
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
自製和洋酒、酒精酢、乾物麵類銘茶、罐詰、乾物、荒物食料雜貨、ビール、米糀、鰹節、鹽辛、日本各地名産各種特約販賣
尚御注文に依り商品切手調進仕候
(電話二五一番)

牛乳 特約
花井牧場
電話一〇五六番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金參百萬圓
積立及繰越金九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店
(電話四二〇)

本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日歩壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

入院隨意
京城壽町三丁目 (電話三七八番)
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

入院隨意
内外科 小兒病 梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
院長陸軍軍醫正 高井貞治
電話(二二六)

韓國產業誌
本書は之を大別し(上卷)農業、林業、鑛業(中卷)水產業、工業、商業(下卷)金融、通貨、交通運輸等產業上より見たる二百有餘ヶ所に涉る各地事情の十篇約七十章數千項とし苟も產業に關聯する限り有らゆる方面に亘りて亦一物をも餘さず加ふるに至便精密なる地圖、寫眞等數十葉を以てす。若し夫れ本書の校閲に至ては之を當局指導の各專門諸士に仰ぎ一々嚴密なる校訂を經たり故に其記事の精確にして周到なる他の能く及ぶ處にあらず實に韓國產業界空前之大編著にして韓國に於て殖產及商工業に從事せんとするもの一日も缺くべからざる好指針たるを信ず

曾禰統監題字、石塚總務長官、木内農商工部次官序文、菊池商工局長、中村農務局長、鈴木司稅局長、工藤鑛務局長、荻田統監府書記官、各校閲、京城文星社主 山口精編著

最上製美本背皮ク ロース金文字入上中下全三冊菊版紙數約三千三百頁

◎豫約方法
▲定價 全三冊 價九圓 十二圓
▲代價拂込方法 豫約申込と同時に一圓上卷引換に三圓中卷引換三圓下卷引換二圓合計九圓四回に拂込むこと
▲一時拂込 八圓五十錢
▲製本期 上卷四十三年四月末日 中卷同年五月末日 下卷同年六月末日
▲郵稅 賣捌所々在地以外の地は一冊に付郵稅小包料金二十錢日韓同額
▲豫約申込期間 四十三年四月十五日限
▲官公署は豫約申込金を要せず

●豫約申込所
發行所 京城壽町一丁目 京城文廣
大賣捌所 東京市日本橋區本町二丁目 寶文館
同 大阪市備後町四丁目 吉岡寶文館
同 京城本町二丁目 日韓書房
釜山大廳町 吉田博文堂

辯護士 特許辯理士
岩田仙宗
京城明治町二丁目 (儒國教會前)
電話三五四番

蒸氣
京城大和町三丁目
場

明治廿年七月創立
東京海上運送火災保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辦店 本町四 山口呉服店 電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

明月
大和町三丁目 梅の家眞向ひ
電話七三五

めし道樂開業御披露
鯛松たけめし 一人前三十錢
あなご竹の子めし たなしく
鶏ゑんどうめし たなじく
なくて七癖と申しますから隨分色々の道樂もありますが就中めし道樂ほど、よい道樂はございません、此道樂を發揮せん爲め、わざ〳〵大阪表からより抜きの美人を呼びよせ釜のまゝ御座敷の眞中に持運び御客樣の御嗜好に任せ按排加減を程好くして差上ます何卒御賞味かた〳〵御來遊の程ひとへに願上候尚多少によらず出前も御便利に迅速に取計ひますから御用命の程御願申上ます